

日本原子力学会核燃料部会

平成17年第二回運営委員会議事録(案)

日時 : 平成17年7月7日(木)12:15~13:30

場所 : 第20回核燃料・夏期セミナー会場(鳥海温泉「遊楽里」)

出席者:(順不同 敬称略)

山脇部会長、山本副部会長、安部田委員、伊東委員、大澤委員、大沢委員、木下委員、来山委員、萩委員、平井委員、更田委員、藤田(干)委員、和田委員、横田殿(藤田(元)委員代理)、三島殿(米田委員代理)

議事

1. 前回議事録確認

平成17年度第一回運営委員会議事録(案)の内容を、資料1に基づき萩委員が紹介した。水炉燃料国際会議プログラム委員会開催日程につき、第一回運営委員会以降に変更があったところを注記で追記し、了承いただいた。

2. 原子力学会第47回通常総会報告

来山委員が、評議員である森様の代理として当総会に出席され、その内容を資料2に基づき報告された。主な報告内容は下記のとおりであり、了承された。

- ・ 第1号議案から第7号議案まで全て承認された。
- ・ 宅間会長が退任され京大・芹澤教授が新会長に選出された。
- ・ 副会長には原研・田中氏と日立・河原氏が選出された。

3. 水炉燃料国際会議(2005年)準備進捗状況報告

林委員から送付頂いた資料3に基づき、木下委員から準備進捗状況を報告された。さらに問題点として以下の件が報告された。

- ・ 論文の集まりが遅くなっており、各トラックリーダーから督促中。
- ・ 中国からの参加が芳しくない。
- ・ 会議運営の予算が不足気味である。

部会長より、中国へは学会のほかにも各ルート通じ参加の呼びかけをして欲しい旨のお言葉があった。論文締め切りについては督促を行いつつ、7月15日(金)をぎりぎり7月18日(月)まで待つことが伊東委員より報告された。さらに伊東委員より、座長はトラック6を除きほぼ依頼済みであり、トラック1にはWiesenack氏と中国人とのペアで座長をお願いする予定であることが報告された。

4. 2005年日韓夏期セミナー(3部会合同)の企画立案状況報告

山本副部会長から資料4-1に基づき、核燃料部会としての講演案が報告された。Plenary Session(山脇部会長)のほか講演4件であり、講演者には正式依頼済みとのことであった。更に韓国側で作成された資料4-2に基づき全体スケジュール案(未確定)が紹介された。韓国側講演者などは変更ある見通しとのこと。

なお山本副部会長から韓国側に対し、あらためて2003年に日本側3部会と韓国側とで締結したMOUを添付してメールで確認した結果、本セミナーの位置付けは当該MOUに基づくものであるとの認識で韓国側も承知したことが報告された。なお今秋は韓国側含め種々国際会議等が相次ぐため、当該MOUに基づく新たな交流の企画は、今年については行わないことで両者了解した旨も報告された。

これら韓国との了解事項については、材料部会と核融合部会(特に核融合部会)にも山本副部会長から連絡して頂くこととして、以上の報告が了承された。

5. 平成18年度夏期セミナー企画立案状況報告

米田委員の代理の三島殿から資料6に基づき、平成18年度夏期セミナーの企画立案状況が報告された。今回運営委員会で審議の結果、8月は大学や企業の夏休みが多いこと、7月下旬は大学の期末試験の時期であること、7月初めは梅雨であることなどを考慮し、日程については平成18年7月13日(木)から15日(土)を目標にして今後具体化を図ることとした。場所については資料6で7件、候補が挙げられたが、さらにアクセス、気温、会議室、公共施設の活用など検討のうえ、次回9月の運営委員会で絞り込むこととした。

6. 平成17年度部会報の企画立案状況報告

藤田(千)委員から資料7-1で、平成18年1月頃発行予定の部会報(以下、本議事録では「冬版」と記す)の目次案が報告された。以下のコメントがあり、それらを反映することとした。

- ・ 巻頭言は前回も原研の方であり、2回続くのを避けて分散したほうが良いため、別途検討とする。
- ・ 特別寄稿(特別講演)の執筆候補の追加として、JMTRの今後の必要性/期待をアピールし、核燃料部会員のサポートを訴えられるような方に、更田委員を通じお願いすることとした。
- ・ 国際会議紹介の追加記事として、アクチノイド2005会議(塩川委員)、グローバル2005を掲載することとした。
- ・ 関係機関便りは、電源開発の方向で藤田(千)委員から当たっていただくこととした。
- ・ 後輩に物申すは、内藤先生にお願いすることとした。
- ・ 会員消息は今後も検討するが、場合によっては見送ることとした。

次に資料7-2で、平成17年8月乃至9月頃発行予定の部会報(以下、本議事録では「夏版」と記す)の目次案が報告された。夏版と冬版との位置付けや運用の仕方についても案が報告された。今回運営委員会で審議の結果、以下のとおりとすることとした。

(1) 送付方法

- ・ 郵送またはFaxを希望されている方(現在16名)には、ハードコピーを広報担当運営委員で準備し、学会事務局を通じ郵送する。場合によっては広報担当運営委員から直接郵送する。
- ・ 電子メール送付を希望されている方(メーリングリスト登録者も含む)には、電子メールの添付ファイルで送付する。
- ・ 部会HPへの掲載は行わない。

(2) 部会報発行番号は夏版、冬版で区別せず、位置付けは同等とする。番号付けは例えば、「41-1」、「41-2」とする。また、夏版、冬版とも原子力学会事務局での保存対象とする。夏版目次案については、別途、電子メール等で運営委員会内の了解を得ることとした。

7. 核燃料部会ホームページ更新状況について

木原委員作成の資料8を萩委員から紹介した。

8. 核燃料部会運営委員の業務分担について

萩委員より資料9-1(運営委員への法人参加状況)および資料9-2(運営委員の分担実績)が報告された。更に、今後の運営委員分担について以下の問題があることが報告された。

- ・ 2002年3月29日の運営委員会で2006年度までの分担が計画されているが、2006年度庶務幹事予定の中部電力殿は現時点で運営委員会に参加されていないため、2006年4月からの庶務幹事担当は事実上困難と思われる。
- ・ JNCと原研との10月統合に伴い、(JNC)木原委員より、「10月以降の組織体系不明のため運営委員会参加が困難」との意向が伝えられている。木原委員には部会HPの管理(サーバ提供も含め)をお願いしており、このままでは10月以降の部会HP管理ができなくなる。学会事務局に肩代わりの可能性を打診したが、他部会での例もなく不可能との回答。当部会運営委員のなかでHP管理を引き受けていただける方(組織)を募りたい。
- ・ その他、当部会から推薦する来年度の評議員および部会等運営委員も決めておく必要がある。

以上報告の上、次回第3回運営委員会においてさらに審議することとした。

今後の予定

- ・ 平成17年度第3回運営委員会、及び会員総会
[平成17年秋の大会時 於: 八戸工大]

以上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)